

令和4年度 デジタル図録

北方領土関連資料

かけがえのない記憶を未来へつなぐ



くなしり
国後島

えとろふ
択捉島

しこたん
色丹島

はぼまい
歯舞群島



独立行政法人北方領土問題対策協会

はじめに

No! 風化! 北方領土を知る資料、かけがえのない記憶を未来へ残す

北方領土元居住者の平均年齢は87歳を超え、北方領土に関する記憶を継承することが大切です。しかしながら、北方領土に関する貴重な資料は時の経過とともに散逸、滅失することが危ぶまれる状況にあります。

独立行政法人北方領土問題対策協会では、北方領土に関する貴重な資料は我が国固有の領土であることの「証し」となるものであることから、散逸、滅失を防ぎ、これらの資料を一元的に管理し、更に活用することで、「記憶の継承」を行うことが重要であるとの認識の下、令和3年度より、北方領土関連資料収集事業を開始しました。

令和4年度においても継続的に収集を行い、本事業の趣旨にご理解・ご賛同いただきました北方領土元居住者とその後継者、北方領土返還要求運動関係者、研究者をはじめとした皆様から大変貴重な資料をご寄贈いただきました。

加えて、令和4年度は昨年度に引き続き「北方領土が掲載された地図資料」をテーマとして、江戸時代から明治、大正、昭和に至る地図資料を体系的、網羅的に収集を行ったところです。

今回収集した資料からは、学術的な視点から北方領土が歴史的に見ても我が国固有の領土であること、戦前北方領土において産業が興され、日本人が生活を営んでいたこと、元居住者の方々の記憶や故郷への思い、北方領土返還要求運動への情熱等を読み取ることができ、正に後世に残すべき大切な記憶です。

この度、貴重な収集資料の存在を通じて北方領土問題に対する理解や関心を広げたいという思いから、寄贈・収集した資料の写真と説明を所収した「令和4年度 北方領土関連資料 デジタル図録」を公開いたします。

かけがえのない資料をご寄贈いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

独立行政法人 北方領土問題対策協会

北方領土関連資料収集事業事務局

オスカー・ジャパン株式会社

目次

1

資料 4

生活用具・産業用具・その他の物品 ..4

地図・書類 23

郵便 78

図書・手記 120

古地図 133

写真・映像 210

生活用具（追加） 227

2

目録 228

3

編集後記 244

1

資料

生活用具・産業用具・その他の物品

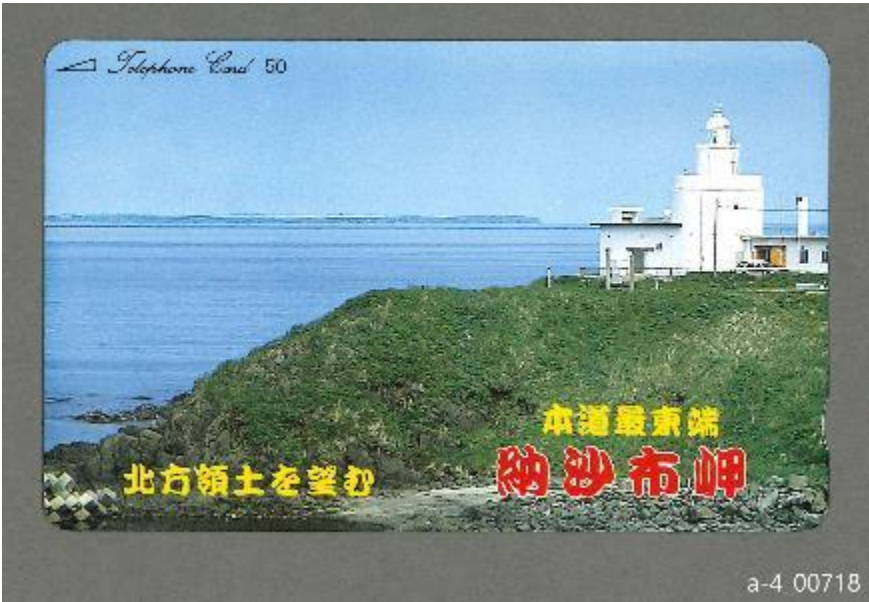


a-1_00575

資料名	洋裁はさみ
資料整理番号	a-1_00575
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和20年（1945）頃
寄贈者/入手元	小野 進弥
資料の寸法 cm	7.5(H)×24(W)×2(D)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	小野弥生氏は大正13年国後島古釜布生まれで、女5人男2人からなる7人姉妹の末子であった。父親は女性の経済的独立を重視し、弥生氏は自身の希望によって東京で洋裁を学んだが、戦後国後に帰ってきたところで抑留された。洋裁ができたことからソ連軍将校の軍服作りを命じられ、将校夫人のドレスなども制作した。ソ連軍の国後進駐以降3年8カ月の間、ロシア軍の軍服や将校夫人のドレス等を縫製した。今回ご子息の小野進弥氏によって寄贈されたのが、当時から大切に使ってきたという洋裁はさみである。

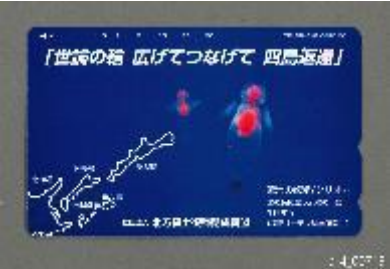


資料名	浮き球
資料整理番号	a-2_00593
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和期
寄贈者/入手元	若松 義則
資料の寸法 cm	8(H)×8(W)×8(D)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	浮き玉（うきだま）は、中が空洞となっている球状の漁具で、漁網を浮かせる目的や目印として用いられる。ガラス製の場合はピン玉と呼ばれることもある。日本における漁業用浮き玉は従来木製で、明治・大正時代の漁業で活用されていたという。その後、ガラス製のものが誕生し普及した。浮き球には一定の割合で網元の印が入り、網が流れていってしまった時に持ち主が分かるようにする。「U」の印は北方四島で広く事業を展開していた碓氷合名会社の所有であったことを示し、昭和初期に制作されたものと考えられる。

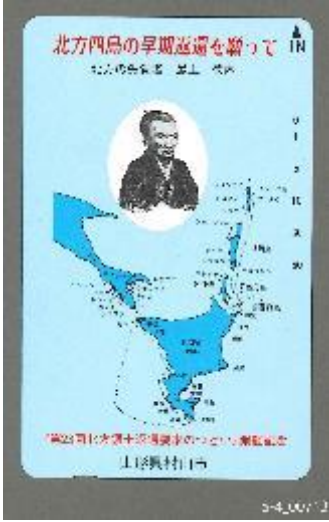
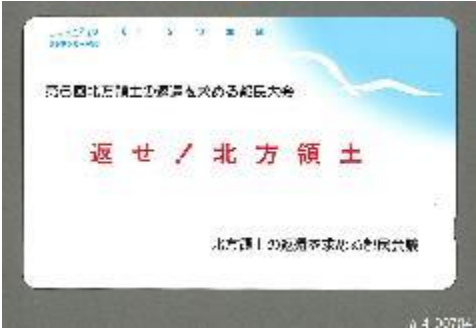


資料名	テレホンカード
資料整理番号	a-4_00710／a-4_00718
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和57年（1982）12月以降
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	5.4(H)×8.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	パート1： 日ソ新時代に北方領土返還運動の機運が高まる 【テレホンカードにみる北方領土返還運動】 テレホンカードは1982年（昭和57年）に発売され、1990年代に組織・事業の広報ツールとしても隆盛を極めた。全国に広がった北方領土返還運動においても、テレホンカードが活用され、2月7日の「北方領土の日」を記念して製作されたものも多い。25枚からなる当コレクションは、寄贈者が、折々に思いを込めて大切に収集・ファイル保管されていたもの。

生活用具・産業用具・その他の物品



資料名	テレフォンカード
資料整理番号	a-4_00700／a-4_00701／a-4_00702 a-4_00703／a-4_00705／a-4_00707 a-4_00708／a-4_00711／a-4_00714 a-4_00719／a-4_00720／a-4_00721 a-4_00722
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和57年（1982）12月以降
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	5.4(H)×8.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	パート2： 「北方領土に関する最優秀入選標語」を活用 【テレフォンカードにみる北方領土返還運動】 テレフォンカードは1982年（昭和57年）に発売され、1990年代に組織・事業の広報ツールとしても隆盛を極めた。全国に広がった北方領土返還運動においても、テレフォンカードが活用され、2月7日の「北方領土の日」を記念して製作されたものも多い。25枚からなる当コレクションは、寄贈者が、折々に思いを込めて大切に収集・ファイル保管されていたもの。



資料名	テレホンカード
資料整理番号	a-4_00699／a-4_00704／a-4_00706 a-4_00709／a-4_00713／a-4_00717 a-4_00723
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和57年（1982）12月以降
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	5.4(H)×8.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	パート3： 全国各地での運動
【テレホンカードにみる北方領土返還運動】 テレホンカードは1982年（昭和57年）に発売され、1990年代に組織・事業の広報ツールとしても隆盛を極めた。全国に広がった北方領土返還運動においても、テレホンカードが活用され、2月7日の「北方領土の日」を記念して製作されたものも多い。25枚からなる当コレクションは、寄贈者が、折々に思いを込めて大切に収集・ファイル保管されていたもの。	



資料名	法被（壮青年連合会）
資料整理番号	a-1_00847
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和54年頃
寄贈者/入手元	千島会館
資料の寸法 cm	72(H)×113(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和54年（1979）10月6日に北方領土返還要求国際アピール委員会国連要請団／根室団（52名）は根室を出発しアメリカに赴いた。国連をはじめとする機関のみならず街頭や列車内でも国際アピールを行ったといい、その際に着用していた法被である。もともとは赤い襟の法被であったが、国際アピール要請に赴くにあたり黒い襟がつけられた。当時現地で人気を博し、人に贈ってしまったものも多いという。



資料名	法被（国際アピール委員会）
資料整理番号	a-1_00848
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和54年頃
寄贈者/入手元	千島会館
資料の寸法 cm	72(H)×113(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和54年（1979）10月6日に北方領土返還要求国際アピール委員会国連要請団／根室団（52名）は根室を出発しアメリカに赴いた。国連をはじめとする機関のみならず街頭や列車内でも国際アピールを行ったといい、その際に着用していた法被である。もともとは赤い襟の法被であったが、国際アピール要請に赴くにあたり黒い襟がつけられた。当時現地で人気を博し、人に贈ってしまったものも多いという。

千島産缶詰誕生と世界戦略

北のパイオニア

～根室、千島は近代日本発展の北のフロンティアだった～

寄贈者の碓氷ミナ子氏は、碓氷勝三郎商店（根室）の5代目当主。同商店は清酒「北の勝」で名高い日本最東の酒蔵。「碓氷家なくして根室、千島は語れない。」と言われるほどの名家。

初代の碓氷勝三郎氏は新潟出身、22歳で根室に移住。以後、明治20年（1887）酒造業、続いて明治27年（1894）には、海産物缶詰製造業に着手、さらに千島列島での水産業、畜産業等展開した実業家であり、また、篤志家として根室、千島の興隆に代々、尽力された。

地元で造られた美味しい日本酒が、根室・千島の発展の支えにもなり、一方、碓氷氏は、当時の世界的成長産業としての缶詰製造に着目、千島の豊かな水産資源をフレッシュな水煮の缶詰の形で、欧米の食文化を念頭に置き商品化に成功、一大輸出産業としたパイオニアであり、中でも高品質のカニ缶、エビ缶の発明は画期的であった。

碓氷氏は、明治政府の博覧会政策に呼応して、パリ万国博覧会にて銅賞、明治42年（1909）、アラスカ・ユーコン太平洋博覧会（シアトル）で大賞、さらに明治43年（1910）には、日英博覧会（ロンドン）で金賞を受賞した。

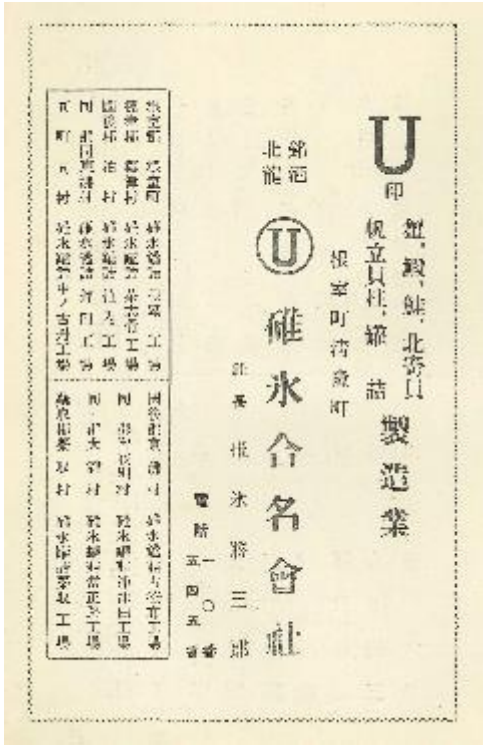
今回、寄贈いただいたU印、ウスビの缶詰のラベルは、当時、製造されていた、全品目（カニ、エビ、鮭、北寄貝、帆立貝柱、鯨）を網羅している。

高品質な缶詰の内容はもちろん、広報戦略にもすぐれ、製造技術の高さをラベルの意匠として表現する高いデザイン性が、超一級品として世界で愛好される日本ブランドとなった所以であることを知ることができる。

缶詰産業の世界戦略とその成功をラベルに見ると、根室、千島、北方四島は、進取の気性と創意工夫で豊かに暮らす日本人の知恵がつまった、近代日本発展のまさに北のフロンティアであったことがわかる。



a-2_01085

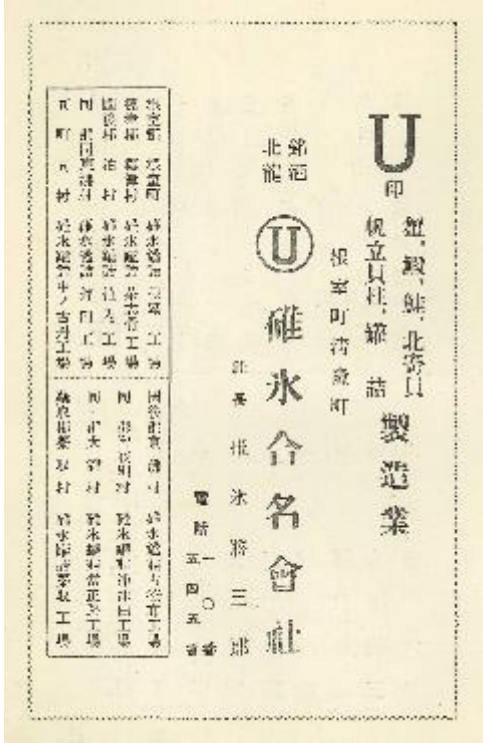


出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（カニ／13オンス用）
資料整理番号	a-2_01085
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	碓氷 ミナ子
資料の寸法 cm	6(H)×33.8(W)×-(D)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印(USUI-CRAB) 英文ラベル。明治38年（1905）国後島古釜布工場で硫酸紙の使用によるタラバガニ缶詰製造に成功以来、日本発、世界的ブランドとなった。



a-2_01086

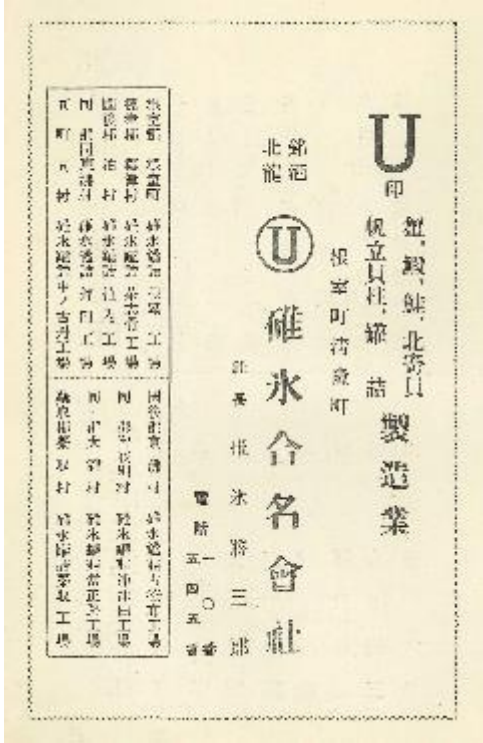


出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（エビ／4.5オンス用）
資料整理番号	a-2_01086
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	確氷 ミナ子
資料の寸法 cm	4.8(H)×29.8(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（USUI-SHRIMP）英文ラベル。明治33年（1900）のバリ万博にも出展、欧米の食文化を市場に世界的ブランドとなった。THE U BRAND にブランド戦略が見て取れる。



a-2_01087

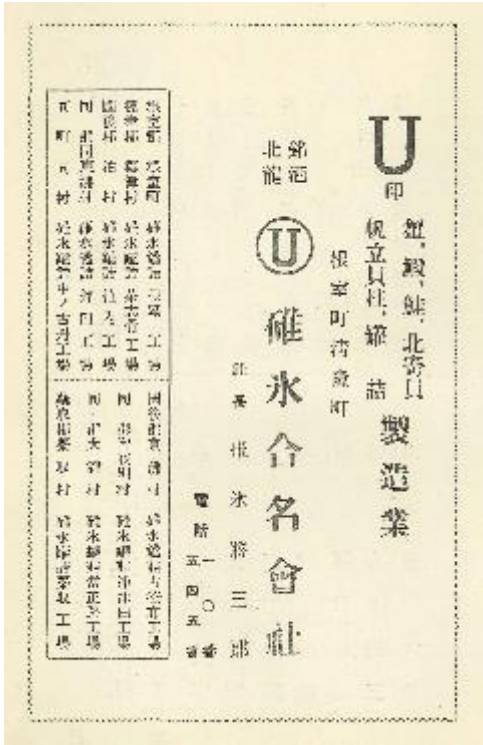


出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（エビ／8オンス用）
資料整理番号	a-2_01087
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	碓氷 ミナ子
資料の寸法 cm	6.2(H)×32.9(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（ウスヒのえび）日英併記ラベル。ラベルの意匠へのブランド戦略。

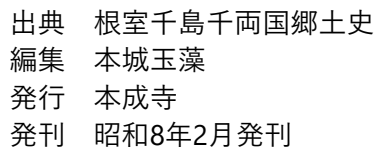


a-2_01088



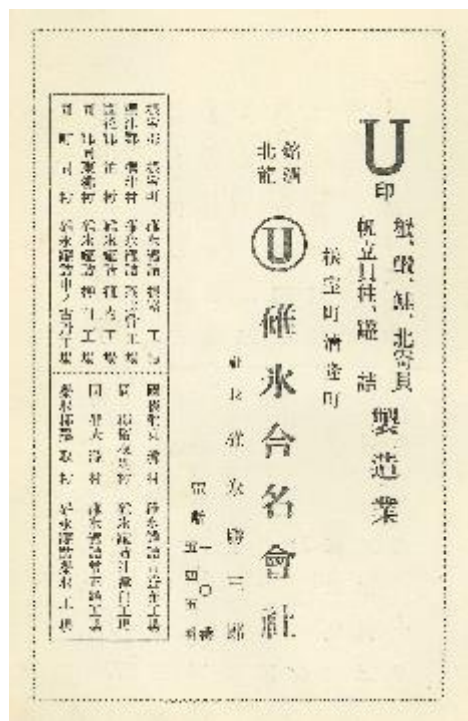
出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（サケ／8オンス用）
資料整理番号	a-2_01088
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	碓氷 ミナ子
資料の寸法 cm	4.5(H)×27.6(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（ウスのさけ）日英併記ラベル。千島エトロフ産／YETORUP SALMON（エトロフサーモン）の記載あり。デザインは資料整理番号01089と同様だがより小さいサイズ。

17

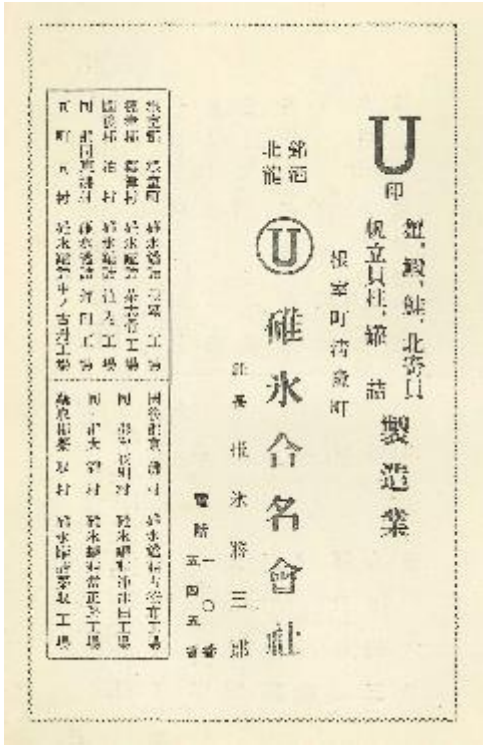


a-2_01090



出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（サケ「PINK」／16オンス用）
資料整理番号	a-2_01090
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	確氷 ミナ子
資料の寸法 cm	10.8(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	USUI SALMON英文ラベル。PINK（ピンク）の記載あり、ラベルの意匠でのブランド戦

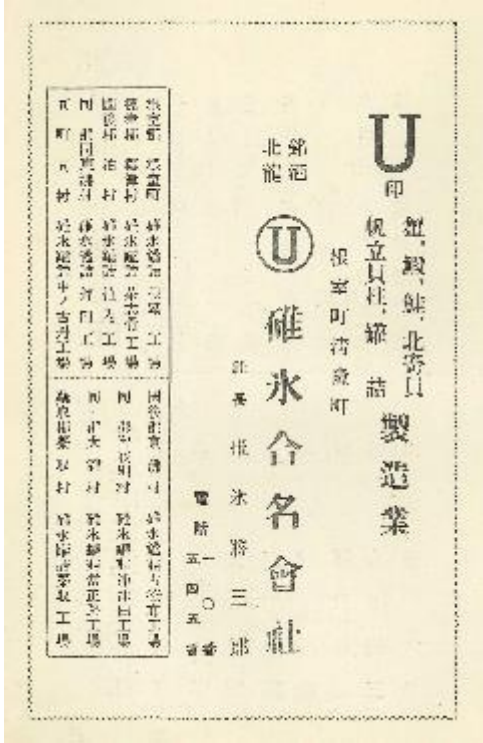


出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（ホッキ貝／4.5オンス用）
資料整理番号	a-2_01091
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	確氷 ミナ子
資料の寸法 cm	4.5(H)×27.8(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（ウスヒのほつき貝）日英併記ラベル。漁の様子も描かれ。美味・栄養・北海・珍味とある。

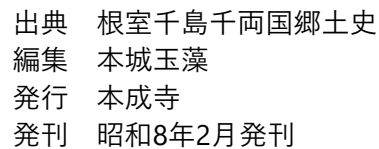


a-2_01092

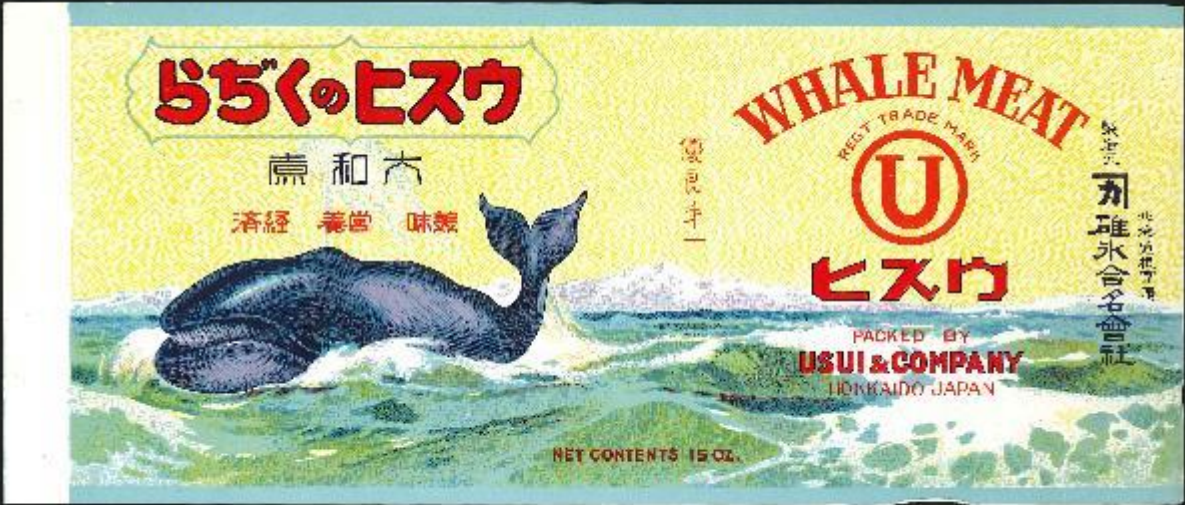


出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

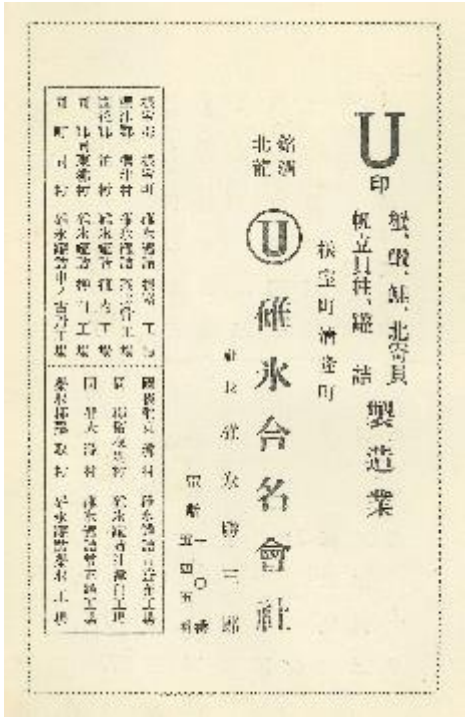
資料名	缶詰ラベル（ホタテ貝／9.2オンス用）
資料整理番号	a-2_01092
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	碓氷 ミナ子
資料の寸法 cm	6.1(H)×27.8(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（USUI-SCALLOP）英文ラベル。ホタテ貝を欧米の食卓へというブランド戦略。



資料名	缶詰ラベル（クジラ／7オンス用）
資料整理番号	a-2_01093
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	碓氷 ミナ子
資料の寸法 cm	5.2(H)×25.4(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（ウスヒのくぢら）日英併記ラベル、横長。 色丹島で捕鯨が盛んだったことによる。 大和煮 美味・栄養・経済とある。



a-2_01094



出典 根室千島千両国郷土史
編集 本城玉藻
発行 本成寺
発刊 昭和8年2月発刊

資料名	缶詰ラベル（クジラ／15オンス用）
資料整理番号	a-2_01094
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	明治後期～昭和初期
寄贈者/入手元	確氷 ミナ子
資料の寸法 cm	5.3(H)×25.4(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	U印（ウスのくぐら）日英併記ラベル、縦長。